

町長日誌 No.220



町長日誌の第 220 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

1月31日(月曜日)～2月4日(金曜日)

コロナ感染症が国内で発症して2年が経ちました。日々の生活が大きく変わった方も多いと思います。私の場合は会議・要請活動・挨拶回りと言うように他人と接し言葉を交わすことが仕事のようなもので、感染症対策からすれば一番いけない行為と言えます。通常1月から2月は新年の挨拶に始まり様々な組織・団体の会議が開催される時期なのです。町村会により異なりますが当選回数が多い首長ほど担当組織が多くなります。しかし、まん延防止重点措置実施期間内は札幌・東京などで顔を合わせた会合が出来ないので、ネットを活用したズームやウェブと言った画面越しの会議に替わってしまいました。今週を例にとりますと、31日は北海道経済産業局のゼロカーボン研究会、2月1日は奄美大島宇検(うけん)村バイオマス講演会、2日バイオマス産業都市認定式、3日バイオマス産業都市推進協議会の部会・研修会、4日バイオマス産業都市推進協議会理事会・シンポジウムと言うようにネットを使えば諸会議や産業都市など全国規模の行事も町長室に居ながらにしての参加や会議の進行も出来るのです。

今後もネットを活用した打ち合わせや会議が主流となると思いますので、その分中央や道庁などに出向く時には中身濃い活動に心掛けなければと思う今日この頃です。

2月9日(水曜日)

病院事務長から明日(10日)札幌医大から来られる医師の迎えを通常の旭川から札幌に変更し対応する連絡がありました。入院患者のいる病院は常に医師1名が勤務することが法律で定められています。通常は金曜の17時から月曜の8時まで、或いは祝祭日そして学会や夏季休暇など堀院長や松本先生が休みの時の代替医師を札幌医大・地域医療財団などに依頼しています。興部だけで年間10人近くの医師に代わるがわる応援して頂いています。特に冬期間はJRの運休が多く、通常は旭川駅までの送迎をハイヤー会社に委託しているのですが6日からの道央圏の大雪でJRは全く動かないため札幌まで迎えに行くことになったのです。11日は祝日ですから10日の17時から代替医師の勤務となるのです。費用は掛かりますが病院の事務方はこのような遣り繰りをしながら病院を守っていることもご理解ください。

2月15日(火曜日) AM9:00

1月の降雪量は近年でも極めて多く、1ヶ月で除雪予算が足りなくなる事態となりました。3月までの除排雪分を見込み基金から5千万円を追加して対応します。多いのは雪だけではりません「ふるさと納税」も令和3年度は3億円と多めの予算を立てたのですが、昨年11～12月に寄付が集中し、あっという間に4億5千万円を超えてしまいました。何と言っても一番人気は「玉冷ホタテ」でいろんなサイズを詰め合わせた《わけありセット》です。特に12月には興部ハムと沙留マルフジ海産の「イカゲソ」を希望する方が多かったようです。返礼品は3割以内と総務省から指導されていますので、1万円の寄付で約3千円の品物をお贈りすることになります。寄付された方からは発送に関する希望も多く、対応する観光協会や漁組など事業所の皆様にも大変なご苦労を頂いたお陰で寄付額が増加したのです。お陰様で寄付をされる方にはリピーターも多くなり興部町を応援して下さる大切な応援団となっています。

コロナのワクチン接種は現在65歳以上の方が2回目と同様に進められています。65歳以下につきましては3月上旬からとなりますので、それぞれ通知(接種券)が届きますので、宜しくお願いします。3月は卒業式のシーズンですが1日の高校から始まり小・中学校全て来賓の出席は無くなりました。代わりにメッセージを贈ってくださいとのことですから、心を込めてエールを贈りたいと思います。皆さんもうすぐ春ですよ! では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。

